

令和 8 年度
釧路市防災訓練
実施計画（案）

2 0 2 6 年（令和 8 年） 5 月

主催 釧路市防災会議

令和 8 年度釧路市防災訓練 実施計画(案) (目次)

釧路市防災総合訓練実施計画		2
釧路市阿寒地区防災訓練（洪水）実施計画		4
釧路市阿寒地区防災訓練（火山）実施計画		5
釧路市音別地区防災訓練（津波）実施計画		6
釧路市釧路地区防災訓練（津波・冬季）実施計画		7

釧路市防災総合訓練実施計画

1 目 的

この訓練は、大規模な地震による被害の発生と津波の襲来を想定した各種訓練等を、防災関係機関と市民によって行い、災害時における迅速な対応を検証するとともに、各機関の連携強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日 時

令和8年10月1日

3 訓練会場

東港区耐震旅客船ターミナル

4 実施機関（38機関）（検討中）

釧路海上保安部、第一管区海上保安本部釧路航空基地、釧路開発建設部、釧路地方気象台、北海道釧路方面釧路警察署、北海道釧路総合振興局、(株)NTT東日本北海道東支店、(株)NTTドコモ北海道支社北海道東支店、北海道電力ネットワーク(株)釧路支店、釧路ガス(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)釧路事業所、(一社)釧路市医師会、釧路赤十字病院、釧路労災看護専門学校、市立釧路総合病院、釧路市消防団、釧路市社会福祉協議会、日本赤十字社北海道支部釧路市地区、釧路市赤十字奉仕団、釧路市水上安全法赤十字奉仕団、北海道赤十字血液センター釧路事業所、(一社)釧路地区トラック協会、赤帽北海道軽自動車運送協同組合釧路支部、(一社)日本自動車連盟釧路支部、釧路市電気設備事業協会、(一社)日本建設機械レンタル協会北海道支部釧路地区部会、(一社)北海道LPガス協会釧路支部、釧路市建設事業協会、(公社)北海道柔道整復師会釧路ブロック、(株)苗穂自動車学園釧路支店、釧路塗装工業協同組合、(一社)日本自動車販売協会連合会釧路支部、FMくしろ、釧路管内沿岸排出油等防除協議会、釧路市石油コンビナート等特別防災区域協議会、釧路市、釧路市消防本部、釧路市上下水道部

5 協力機関（13機関）（検討中）

海上自衛隊、陸上自衛隊、自衛隊帯広地方協力本部、北海道農政事務所釧路地域拠点、釧路市危険物安全協会、釧路市連合防災推進協議会、釧路市家庭防災推進員連絡協議会、釧路市防火管理者連絡協議会、(一社)北海道消防設備協会釧路支部、釧路生コンクリート協同組合、946ドローンサポート隊、北海道エアポート(株)、道東ドクターヘリ運航調整委員会

6 訓練項目（33項目）（検討中）

特設公衆電話開設訓練、災害時伝言ダイヤル操作訓練、衛星携帯電話操作訓練、マルチチャージャー等操作訓練、災害時給電訓練、災害復旧洗浄訓練、被害状況等収集・伝達訓練（ヘリ・船舶・ドローン）、災害情報収集・伝達訓練、道路啓開訓練、市民初期消火訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練、応急給水訓練、孤立住民海路輸送訓練、緊急物資海路輸送訓練（災害派遣）、緊急物資輸送訓練

(協定物資)、警察・海保連携職員輸送訓練、血液緊急輸送訓練(ヘリ)、避難施設用仮設分電盤通電訓練、電力供給支障事故復旧訓練、ガス供給施設復旧工事訓練、電力供給・充電支援訓練、津波漂流者捜索救助訓練、現地救護所開設訓練、トリアージ訓練、応急医療処置訓練、災害現場広報訓練、一般家屋倒壊建物救助訓練(消防団)、津波浸水域引揚救助訓練、負傷者搬送訓練、交通事故救助訓練、緊急患者空輸訓練、災害時空港連携訓練、排出油事故対策訓練

7 訓練実施の方法

実施機関及び協力機関は、下記の訓練想定に基づき、別途作成する訓練実施要領に従い各種訓練を実施する。

8 訓練想定

(1) 海上・陸上訓練

令和8年9月X日午前10時頃に釧路・根室・十勝地方を中心に地震が発生。この地震の震源地は、釧路沖(釧路市の南東約40km)で、地震の規模はマグニチュード8.6、釧路市で震度6強、根室市で震度6弱、帯広市で震度5強を観測。また、この地震により発生した津波は釧路港で約5mを記録し、市内各所に浸水被害をもたらした。

この地震・津波により、道路・家屋の倒壊やライフライン被害が発生した。また、この地震及び津波により一部の住民が孤立している模様。釧路市は北海道知事に自衛隊の災害派遣を要請。自衛隊は、陸上自衛隊第5旅団、海上自衛大湊地方隊の派遣を決定、支援物資を積載した海上自衛隊多用途支援艦が釧路港に入港した。

(2) 海上訓練(流出油事故対策訓練)

令和8年9月X日Y時頃、釧路地方に震度6強の地震が発生し、釧路港東区南新ふ頭南側ドルフィンに着岸荷役中のタンカーA丸と貯蔵施設を連結する送油管が外れ、付近海域に重油が流出した。

9 訓練の中止

災害の発生や発生する恐れ(警報の発表等)があるとき、または感染症の拡大等不測の事態が発生し、訓練の実施が困難と判断したとき。

釧路市阿寒地区防災訓練（洪水）実施計画

1 目 的

この訓練は、大雨の連続による阿寒川及び舌辛川での洪水の発生を想定した各種訓練等を防災関係機関と市民によって行い、災害時における迅速な対応を検証するとともに、各機関の連携強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日 時

令和8年8月下旬

3 訓練会場

阿寒町本町地区（阿寒町行政センター、阿寒町公民館ほか）

4 実施機関（6機関）（調整中）

釧路市阿寒町行政センター、釧路市消防本部西消防署阿寒支署、釧路市消防団阿寒第1・3分団、釧路市社会福祉協議会阿寒支所、釧路赤十字奉仕団阿寒分団、釧路市家庭防災推進員西地域協議会

5 協力機関（3機関）（調整中）

釧路地方気象台、防災士、阿寒本町地区等町内会（13単位町内会）

6 訓練項目（12項目）（調整中）

初動対応訓練、災害対策地域本部設置訓練、広報訓練、避難訓練、避難行動要支援者訓練、避難所開設訓練、福祉避難所開設訓練、通信訓練、防災講話、災害関連死予防訓練、災害ボランティアセンター設置訓練、炊き出し訓練

7 訓練実施の方法

実施機関及び協力機関は、別途作成する訓練想定並びに訓練実施要領に基づき、各種訓練を実施する。

8 訓練想定（調整中）

令和8年8月X日夜遅くからの激しい雨は峠を越えたが、降り始めからの雨量は、阿寒湖畔173ミリ、中徹別100ミリ、阿寒123ミリとなっており、阿寒川の危機管理型水位計の水位は、氾濫危険水位（28.64m）に到達した。

このため、釧路市は「警戒レベル4避難指示」を発令した（降雨量については令和3年11月の降雨量実績値をベースに設定した）。

9 訓練の中止

現実に災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき、その他訓練を実施することが不可能な事態が発生したとき。

釧路市阿寒地区防災訓練（火山）実施計画

1 目 的

この訓練は、雌阿寒岳の噴火警戒レベルが「2」に引き上げられたケースにおいて、災害対策本部が設置されない中での現地職員による初動対応訓練等を行い、災害時における迅速な対応を検証するとともに、職員の防災対応力向上を図ることを目的とする。

2 日 時

令和8年11月中旬

3 訓練会場

阿寒町阿寒湖温泉地区（阿寒湖まりむ館）

4 実施機関（2機関）（調整中）

釧路市阿寒町行政センター、釧路市消防本部西消防署阿寒湖温泉支署

5 協力機関（3機関）（調整中）

北海道警察釧路方面本部釧路警察署阿寒湖畔駐在所、釧路地方气象台、防災士

6 訓練項目（6項目）（調整中）

噴火警戒レベル引き上げ（1→2）に伴う初動対応訓練、災害対応型自動販売機訓練、防災講話

7 訓練実施の方法

実施機関及び協力機関は、別途作成する訓練想定並びに訓練実施要領に基づき、各種訓練を実施する。

8 訓練想定（調整中）

雌阿寒岳において、令和8年11月10日以降、火山性地震の増加や傾斜変動を伴う火山性微動の発生、噴気の増加等、火山活動の活性化を示唆する現象が観測された。

11月X日、气象台による現地確認の結果、ポンマチネシリ火口内及びその近傍に火山灰の堆積及び熱活動の活発化が確認されたため、同日15時20分、噴火警戒レベルが2に引き上げられた。

9 訓練の中止

現実に災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき、その他訓練を実施することが不可能な事態が発生したとき。

釧路市音別地区防災訓練（津波）実施計画

1 目 的

この訓練は、大規模な地震による被害の発生と津波の襲来を想定し、各関係機関と地域住民による防災訓練を行い、災害時における防災対策が迅速かつ円滑に対応できること、更には防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日 時（調整中）

令和8年9月上旬

3 訓練会場（調整中）

音別町コミュニティセンター、釧路市西消防署音別支署ほか

4 実施機関（2機関）（調整中）

釧路市音別町行政センター、釧路市西消防署音別支署、釧路市消防団音別第一分団、音別町ボランティア連絡協議会

5 訓練項目（4項目）（調整中）

情報収集訓練、通信訓練、避難誘導訓練、炊き出し訓練

6 訓練実施の方法

実施機関は、訓練想定に基づき、別途作成する訓練実施要領に従い各種訓練を実施する。

7 訓練想定（調整中）

令和8年9月X日Y時頃、釧路沖を震源とする震度6強の地震が発生。

この地震により、「北海道太平洋沿岸東部に大津波警報」が発表されたことから「災害対策地域本部」を設置し、「避難指示（緊急）」を発令した。

8 訓練の中止

現実に災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき、その他訓練を実施することが不可能な事態が発生したとき。

釧路市釧路地区防災訓練（津波・冬季）実施計画

1 目 的

この訓練は、釧路市において冬季に大津波警報が発表され、緊急避難が必要となった場合を想定し、地域住民による徒歩での避難訓練等を行い、災害時の避難行動等の確認と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日 時（検討中）

令和9年1月下旬から2月中旬のうち1日

3 訓練会場（検討中）

大楽毛地区

4 訓練項目（11項目）

避難広報訓練、津波避難訓練、災害警戒パトロール訓練、避難所開設・受入訓練、緊急支援物資輸送受入訓練、応急給水訓練、救助救出訓練、救急救命訓練、炊き出し訓練、伝言ダイヤル体験訓練、防災展示